校長室の窓

－主体的に学び，地域を愛する子どもの育成－

よく考える子　やさしい子　たくましい子

福山市立東村小学校
Ｎｏ．１０
Ｈ３０．７．１９
校長　大村　良人

学校評価保護者アンケートから

児童アンケートに続いて保護者アンケートの結果の概要をお伝えします。なお，詳しい分析結果は夏休み明けに配布します。

１　本校教育への保護者の意識の推移

昨年末に行ったアンケートの５項目について，年度で推移をみたものが次の表です。項目は，昨年度２学期の結果から重要度が大きいと考えたものを取り上げました。

１　学校は，教育方針や教育内容，児童の様子を「たより」等でわかりやすく伝えていますか。
２　学校は，地域・保護者の願いを受け止めて，教育活動を行っていると思いますか。
３　学校と保護者の協力関係は良いと思いますか。
４　先生は熱意をもって教育していると思いますか。
５　本校教育に満足していますか。

肯定的回答率（肯定率）は次のとおりです。

設問／時期	1	2	3	4	5
H29 年度末	95%	90%	95%	98%	95%
H30 １学期	**93%**	**95%**	**95%**	**93%**	**93%**

■評価結果の考察

働き方改革の趣旨はご承知のとおりと思いますが，学校現場の教職員もワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を大切にするようになりました。私たちは，子どもたちの健やかな成長を願って限られた時間の中で研修をしたり，授業準備をしたりしています。したがって，十分な情報が保護者の皆様に届かないこともあろうかと思います。また，ご要望に十分お応えできない場合もあろうかと思います。その点はどうかご容赦いただきたいと思います。

当然のことですが，学校は子どもの教育の一部分を担うものであり，日々の家庭教育や地域社会の教育力こそ，望ましい人格形成の土台となるのではないかと考えます。もっとも現代社会においてはメディアの影響も少なくはありません。そうした意味からも，学校と家庭との良好な連携は欠かせません。その下でこそ立派な人格が備わるものであろうと考えます。今一度，家庭で担う役割と学校で担う役割をお互いがしっかり認識して，それぞれの役割を精一杯果たしていきたいものです。

評価結果については，どの項目も高い肯定率で推移していることをうれしく思います。学校は，この数値に甘んじることなく，一層の精進を重ねて参る所存です。あくまでも私たちが目指す子どもの姿は，“その場その場で，自分で考えて，適切に行動できる”そんな主体を持った人間です。どうぞご家庭でも，子どもが適切な判断や行動ができるよう助言をいただくと共に，その判断や行動をしっかり評価していただければ幸いです。子どもは本来，何がしかの目標をもって伸びようとしているのですから。

２　家庭での生活

１　お子さんは，毎朝，朝食を食べていますか。
２　お子さんは，家庭や地域で挨拶をしていますか。
３　お子さんは，家庭でお手伝いをしていますか。
４　お子さんは，家庭で適切な言葉遣いをしていますか。
５　お子さんは，学校で設定した時間は家庭学習をしていますか。
６　お子さんは，家庭で読書をしていますか。

肯定的回答率は次のとおりです。

設問／時期	1	2	3	4	5	6
H29 ２学期	95%	95%	80%	75%	91%	45%
H30 １学期	**95%**	**93%**	**78%**	**80%**	**95%**	**61%**

■評価結果の考察

「家庭が先か，学校が先か」鶏と卵の関係ではありませんが，どちらが先にということではないのでしょう。家庭でも学校でも足並みをそろえて指導すべきことがあります。あいさつや言葉遣いなどの社会性です。

一方，家庭でこそ重視したいこともあります。朝食，お手伝い，家庭学習，読書がそうです。家族の愛情のこもった朝ごはんと家族の一員であることを自覚しながらするお手伝いはとりわけ大事だと考えます。また，自分自身や家族の将来を頭に描きながら取り組む学習や読書も大事です。

評価結果からは，ご家庭でのご苦労が伝わってくるようです。しかし，見ようによっては“こんなにできている”とも言えるのではないでしょうか。また，今はできているとは言い難いが，近い将来できるであろうという子も必ずいます。私もそんなにいい小学生ではありませんでしたが，大きくなるにつれて客観的に家庭を見ることが

できるようになり，言葉づかいや手伝いに対する考え方が変わっていったように思います。夏休みはすぐそこです。このチャンスをぜひとも生かしたいものです。